

# 日本政府に核兵器禁止条約の 批准を求める岩手県民の会 ニュース

第9号/2023-6-8

発行：核禁条約批准を求める岩手の会

事務局：岩手県生活協同組合連合会

☎019-684-2225

岩手の署名数(5月末現在) **52,097 筆**(目標 20万筆)

「核兵器禁止条約」に署名した国 92 か国・批准した国 68 か国

## 核兵器廃絶について、県選出国會議員と懇談しました

この1年半で集めた署名5万2千筆の思いを県選出国會議員に届けようと、6名の国會議員に懇談の申し込みをしました。この間、2名の国會議員とお会いできましたので、ご報告します。

### ◇5月28日 参議院議員 横澤高德氏

被団協下村副会長、原水協吉田事務局長、平環 C 及川事務局長、いわて生協小山田常務理事・小原理事・山崎組合員活動チームチーフ、県生協連吉田専務理事が参加。与党の核武装論が強くなる中、核廃絶が進むよう一層力を尽くして欲しいとそれぞれ発言。いわて生協は、昨秋集めた「平和メッセージ」を渡し、軍備増強はエスカレートするだけで日本を危険にさらす愚かな行為だ、と訴えました

横澤氏はすでに自身の賛同署名（日本は批准すべきの意思表示署名）はしており、当会の署名を地元矢巾町で100筆集める等協力的な議員です。「国のリーダーが常に冷静な人とは限らず、核兵器がある限り使われる危険と隣り合わせ。だから核廃絶しかない。しかし国会では与党と補完政党が、核武装をすべきとヤジを飛ばす等廃絶に一切動こうとしない。広島 G7 の声明も残念。皆さんの切実な声を届けるため今後も頑張りたい」と答えてくれました。



### ◇6月4日 衆議院議員 階猛氏



被団協三田代表、原水協菅野さん、平環 C 及川事務局長、いわて生協赤間理事、県生協連吉田専務理事が参加。また、ジョー・オダネル氏が撮影した「焼き場に立つ少年」の写真等、戦争や原爆被害の実相の継承に尽力している山崎さんも同席しました。

階議員からは、「以前は核抑止力の考えに同意するところがあったが、ロシアのウクライナ侵攻で考えが変わった。核兵器は抑止力ではなく威嚇力になっていて、ロシアは核兵器があるからウクライナに攻め込んだ。もし核を持っていなければロシアは各国から反撃にあい、戦争を止めざるを得ない。核兵器を持っていることが戦争を起こさせ長引かせている。ウクライナ侵攻の教訓は、核兵器は戦争抑止に全くならず威嚇に使われるということ」と述べました。

また、「広島サミットの広島ビジョンは、抑止力としてなら持っていいと認めていることが問題。原爆記念館でどの程度展示物を見たかも明らかにせず、今や非核三原則さえ変えようとしている」と答えました。

核禁条約には日米安保条約があるから入れないと国は言うが、そこから一步も進まないのはいかしいという意見に対しては、「ドイツは核の傘にいても核禁条約締結国会議に、オブザーバー参加している。日本ができることはいろいろある。安保があるからと言ってアメリカだけに極端におもねっているだけではだめ。どの国とも懐疑的に付き合うことがこの難しい世界情勢の中では大切」と述べました。

## 引き続き、核兵器廃絶をめざして署名を推進していきましょう！

手元にある署名は幹事団体まで。すでに中央団体に送ったものがあれば、その数をお知らせください。

《日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会 幹事団体》

岩手県原爆被害者団体協議会/平和環境岩手県センター/原水爆禁止岩手県協議会/岩手県生活協同組合連合会